公益社団法人競走馬育成協会の概要

１ 目 的

協会は、競走馬の育成調教及び飼養管理等の育成調教技術の改善向上を通じて、丈夫で強い馬づくりや育成調教技術者の養成及び育成調教牧場への就労の支援を図り、もって競馬の健全な発展と地域社会の健全な発展に寄与することを目的とする。（定款第３条）

２ 組 織

（１） 会 員 １９１名

（２） 役 員 １２名 （会長：大平　俊明； 理事１０名、監事２名）

（３） 本 部 東京都港区新橋４－５－４ ＪＲＡ新橋分館４階

３ 主な事業

（１） 軽種馬の育成調教に係わる人材の確保と養成に関する支援（公益事業）

軽種馬の生産育成調教の分野で働く人材を確保するため、多くの若者に現場を紹介することにより就業者の参入を促進するための参加型イベント等を開催する。また、牧場就労の担い手について、牧場で働くために必要な知識と技術を習得するための海外研修等を援助する。

（２） 軽種馬の育成調教技術の向上に関する普及、啓発及び指導（公益事業）

生産育成調教に関する知識と技術の向上を目的とした講習会や研修会等を開催し、育成調教技術のレベルアップに繋げる。

（３） 競走馬育成調教技術表彰（収益事業等）

優秀な競走成績を収めた競走馬の育成調教者へ褒賞金を付与して表彰する制度で、対象となる競走（新馬競走、重賞競走等）に優勝した競走馬を育成した会員を表彰する。

（４） 施設等の整備に対する助成（収益事業等）

意欲がありながら競争力に乏しいことで事業運営に苦慮している牧場に必要な支援として、施設や機材等を整備する際の負担軽減に資するため、利子補給事業、リース事業、競馬関連機材有効活用事業等を実施する。

４ 実施体制

（１） 常勤役員 １名 （副会長）

（２） 本部職員 ６名

（令和７年３月現在）